

輪島市 社協だより

【臨時号】

令和6年5月発行

令和6年元旦、午後4時10分頃に発生した令和6年能登半島地震により家屋の倒壊が相次ぎ、道路の遮断や市内でも100人を超える死者がでる甚大な被害となりました。

お身内にご不幸があった方々にお悔やみを申し上げますとともに、今なおご不自由な避難生活をされている住民の皆様にお見舞いを申し上げます。

発災からの輪島市社会福祉協議会の活動、輪島市災害たすけあいセンターの活動についてご報告いたします。



●発災当初停電の中、市外の方々の支援をいただき、災害たすけあいセンターの準備と困りごとのききとり訪問を始めました。



●多くの方に支えられて社協の通常業務も再開できました。暮らしサポートセンター（緊急小口貸付相談）、居宅介護支援、児童クラブ、民生委員会長会議、社会福祉協議会理事



輪島市災害たすけあいセンター

●市内3カ所に輪島市災害たすけあいセンターを開設し、住民の皆さん震災後の家の片付け等をお手伝いしています。



輪島市災害たすけあいセンターへのご相談、ご依頼は下記へお願いします。
電話 080-7707-5242 または 080-7707-5342
受付時間 9時～16時（土日祝日も開所しています）
※直接輪島市社会福祉協議会（河井町13番地1）へお越しいただいても結構です。
※輪島市在住の「市民ボランティア」を募集しています。募集専用電話090-4755-0087

ボランティアさんの活動紹介



●がれきでふさがれた道路をあけたり、倒壊した家屋から貴重品や車を取り出したりなど、専門の技術を持ったボランティアたちが重機などを使ってお手伝いしてくれます。



一般ボランティアさん

●災害ゴミの搬出、落ちた瓦、倒れたブロックの片づけ、倒れたタンス起こし、割れた茶碗の片づけ、被災者が応急仮設住宅に入る前の準備などをお手伝いしてくれます。



